

# 学校保健

THE SCHOOL HEALTH No.207

(財)日本学校保健会

生涯にわたり心豊かで  
たくましく生きぬく子どもの育成  
—のぞましいライフスタイルの  
確立をめざして—  
第45回全国学校保健研究大会の主題  
(平成7年度・徳島県)



## 個人差と健康教育

健康診断調査研究委員会委員長 船川 幡 夫  
元 東 京 大 学 教 授

集団を対象としての学校保健だけでなく、個人を対象としての学校保健の重要性が増してきている。学校教育のあり方についての教育課程審議会の答申にも、子どもの個性や能力に応じた教育によって人間性豊かな子どもを育てることの必要を強調している。

このことは、学校保健でもあてはまることであって、未来に向けての可能性を秘めた子どもについて、それぞれなりに健康に生きていくための意欲をひき出し、自主的な努力を促すための健康教育がもとめられている。総論として画一的な教育だけでなく、子どもそれぞれの心身の発達のちがい、個体差、とりまく環境や生活のしかたのちがいなどをみすえてのきめのこまかい処方や助言が大切となってくる。

これからの超高齢社会を構成すべき子どもたち、ますます国際化のすゝむ社会の中で、少子化している今日こそ生涯に亘ってそれぞれたくましく生きていくための基礎的な知識と実践力をはぐくむためにも、学校におけるきめのこまかい健康教育が重要視されなければならない。



「社会教育指導者の手引—エイズに関する学習のすすめ方」から  
平成6年3月31日(財)日本学校保健会 発行

### 目次

生き抜く力	
その指導について	…2
生徒支援のために	…3
Q & A—その支えの条件	…4
北から南から	…5
保健会だより	…6
学校保健用品推薦	…7
募金協賛者ご芳名	…8~11

会報をよくするため、読者のご意見を求めています。お葉書をお寄せください。

## 生き抜く力 —その指導について

中野区教育委員会指導室長 黒瀬 忠生

### 「生きている」とは

「生きている」という言葉を聞くと、まず思いうかぶのは、身体的な状態である。そして、突きつめていくと、呼吸をしている、呼吸ができている状態とすることができる。生理学的に言えば、随意筋を動かし、肺に空気を吸い込み、ガス交換ができる状態である。

しかし、これだけで、本当に生きていると言えるのだろうか。人間は、思考する動物であり、心と言われる感情をつかさどるものを有している。この心が「自分は、生きている」と感じなければ、本当に生きているということにはならないと思う。すなわち、生きているということは、からだと心が健康で、健やかな生活ができている状態と言える。

### ライフスタイルの基礎づくり

生涯を健康で過ごすためには、「自分の健康は、自分で守る」ことを身に付けなくてはならない。人間は、明らかに病気という状態の時以外は、病気ではないが虚弱であったり、不健康であったりする状態で生活している場合もあると思う。そこで、常に自分の健康状態を把握し、日常生活のあり方に注意をはらい、より健康な生活を送ろうとする努力が大切となる。

健康に影響する要因として、これまでは、個体・環境・病原の三つを上げていたが、最近では、これに加えて、ライフスタイルを上げるようになった。これは、疾病構造の変化や生活環境・状態の変化にともない、健康と日常生活のあり方との関係に目が向けられてきたからと考えられる。いつでも、どこでも食べることでできる食環境、体を動かさなくてもすむ、また、動かさない生活環境、夜型の生活サイクルなど、ライフスタイルに起因する健康を損なう条件が、特に都市生活では、あふれている。

健康な生涯を送る基礎づくりの時期である学校在学期からのライフスタイルが成人となったときの健康状態に大きく関与していると言われている。とな

ると、学齢期の子供を教育する立場にある者は、健康について、その概念を確認し、健康な状態を維持するためには、どのような能力や態度を身に付けさせなくてはならないかを考える必要がある。

### 保健行動を選ぶ考え方を

一般的に、健康な状態とは、どのような状態を言うのだろうか。世界保健憲章の序文には、「身体的にも精神的にも、また、社会的にも良好な状態」とある。この良好な状態を維持することができて、はじめて「わたしは、健康です」と言えるのであろう。

では、この状態を維持するためにはどんな力が必要なのであろうか。一言でいえば、「好ましい保健行動が主体的に選択できる意志決定能力」と言える。しかし、好ましい保健行動がとれるためには、それを支える力が必要となる。身体的には、体力・運動能力などであり、精神的には、忍耐力や克己力、向上心などであろう。さらに、社会的には、協調性・公共性などが考えられる。

### 総合的健康教育の推進

これらの力を身に付けさせるには、学校の全教育活動を通して指導しなければならないが、指導された者が、「なぜ、これらの力を身に付けなくてはならないのか」を科学的に認識し、納得することが大切となる。人間にとって、生きていくために最も基礎的な力の在り方が健康の維持とどのようにかかわっているかを、発達段階に合わせて指導を行い、「では、どのように学習や活動を行えばよいか」を考えさせ、実践させるようにすることである。その際、気を付けなくてはならないのは、いかに実践させるかに力を注ぎがちになることである。また、部分的な指導になることである。指導者は、指導される者が実践することの意義や根拠、因果関係などをきちんと理解し、納得しているかを見定めながら、指導することが必要であり、総合的な健康教育を推進していくことが大切である。



# 生き抜く力 ー生徒支援のために

## 教育相談研修会を実施して

東京都立小平高等学校養護教諭 佐藤 紀久栄

青年期とりわけ高校生時代は、心身共に急成長し、人格形成の最も重要な時期である。社会環境の変化や家庭の問題、更に友人との関係や将来の進路、自分自身の身体的・精神的な悩みなど高校生の抱えている問題は複雑多岐にわたり、教職員はその対応に苦慮しているところである。

本校では、平成4年度にも保健部の企画により精神保健の研修会を数回実施し、多数の教員が参加した。この実績を踏まえ、今後本校の教職員として、生徒に対しどのような支援ができるか、校内や家庭、地域等との連携はどうするか等について講師を招き、更に研修を深めたいとの要望があり、保健部で検討の結果、次のように計画した。

### 1. 教育相談研修会の計画

- (1) 研修会：年間6回
- (2) 対象者：本校教職員
- (3) 内容：教育相談、事例研究
- (4) 講師：山口千鶴子先生（東京都練馬区総合教育センター・教育相談員）
- (5) 講師謝礼：東京都教育庁指導部・支払基準による

計画が受理され、研修推進は養護教諭が担当することになった。講師の山口先生と相談した結果、研修会は教育相談に関する学習と事例研究の2本立で実施することにした。

### 2. 教育相談研修会の実際

- 第1回：「保護者へのかかわりの実際」事例研究について「事例研究」
- 第2回：「事例研究」

第3回：「子供の問題行動と家族」事例研究

第4回：「薬物乱用の生徒への対応」事例研究

第5回：「現代のいじめ現象の背景等」災害時の子供への精神的援助」事例研究

第6回：「教師が生徒の信頼を得る基本」年間のまとめ

### 3. 研修の成果と今後の課題

研修会の参加者数は、生徒指導や他の委員会等との重複のためばらつきがあったが、事前の通知や事後の報告等により教員相互の共通理解も深まり、その結果、不登校や情緒不安定の生徒に対する対応の改善がみられた。

また、保護者に対しては、保護者会やPTA主催の講演会等において、高校生の心身の健康問題について話し合ったり、PTA広報に投稿するなどして（保護者への）啓蒙や連携を図った。

研修による教員相互の共通理解は次のような事項であった。

教師は、①生徒が教師に望むことを知る ②生徒の行動傾向を踏まえる ③一人前の大人に対する言葉遣いをするなど生徒理解を深め、生徒の信頼を得る努力をしなければならない。また家族や教師、周囲の大人達は、生徒の出すサイン（メッセージ）を早くキャッチして、迅速で適確な対応をとることが大切である。

今後、スーパーバイザーの出席による事例研究会を継続することにより、生徒理解を深め、生徒の心身の健康問題の支援を図りたい。

# Q & A - 学校保健活性化のために -

Q どのようなことが、生き抜く力をつけるための支えとなる条件なのですか。

A .....東京都港区立御成門小学校養護教諭 中 村 道 子

話をしたり聞いてもらえる、自分を認めてもらえるなど保健室が「心の居場所」といわれています。不登校やいじめなどの起こらない楽しい学校には、学校のどの場所でも心の居場所といえることが子供達に生きるための支えの条件となるのではないでしょう。

つまり、自分の存在が認められること、自分の行為をほめられたり励まされることが子供にとって「心の居場所」であり、生き抜く力をつけることとなります。

このことは学校が存在するための大切な条件ともいえるでしょう。

激しい変化が予想される社会において、これからの学校教育は子供達が主体的に生きていくことの出来る資質や能力を育成することが課題です。

健康教育においてもその目ざすところは、いきいきとたくましく生活していく力を身につけることにあります。そのためには健康教育を学校経営に位置づけ子供達が自分の心やからだをしっかりと見つめ、健康課題を発見し健康づくりに意欲を持たせることや、日常活動として継続性のある活動を通して、生きる力をつけるように展開する必要があります。

家庭も学校と同様に明るく楽しい心の居場所としていることが大切です。子供の生活の場としての地域社会は、失われつつある遊びの復活、仲間づくり、探究心や自然に親しむための意欲や関心を高めるための豊かな生活体験の場として不可欠です。

## 虎の門(30)

### う ま 味

(石川行男委員)

食べものの味は舌の表面に分布する味蕾という感覚器官で感知されます。甘味は舌の先で、から味、酸味は横で、苦味は奥の方で感じます。

この直接的な味覚以外に、いわゆる「うま味」、なんともいえない味わいを感じて食物がおいしく食べられるのです。これは食物を咀嚼

し飲み込む時に、舌が上あごの前から奥の方に段々と、おし付けるようにして、食物が送られ、この時に口の中全体で「うま味」を感じるのです。

歯が失はれ総義歯を入れると、上あごが義歯で覆はれてしまい、「うま味」は半減してしまいます。いま私たちは8020運動を推進して

います。80歳になった時に、20本の歯が残っていれば、義歯を入れないで自分の歯で物が食べられます。そうすれば老人の楽しみの一つ、食事が楽しくなるでしょう。

そのためには、子どものうちから歯と歯間のブラッシングと、口の中の清潔が必要なのです。楽しい食事は健康の第一歩です。

<訂正> 会報第205・206号の“虎の門”通し番号が間違っていました。第205号(28)・第206号(29)に訂正いたします。



## 北から南から

## 秋田県学校保健会の活動

秋田県学校保健会事務局 加藤 邦彦

秋田県学校保健会は県教育庁保健体育課に事務局を置く本部と12地区学校保健会から成っている。ここでは、それぞれ所管の事業等を紹介する。

## 1. 本部事業

## (1) むし歯予防対策事業

## ○ むし歯予防推進校の委嘱

昭和51年から始め、これまで全小・中学校の1/3、160校ほどで実施している。

## ○ むし歯予防用ポスターの作成と配布

県内の全小学校新入生と歯科医院へ配布し啓発を図っている。

## ○ 歯科保健委員会の設置 (本年度設置)

当県のむし歯予防については、り患率、治療率等、いずれの項目をとっても全国平均を下回っている。そこで遅ればせながら全市町村・学校の歯科保健調査を行い、その結果をもとに、抜本的な施策を提言していただくことにした。

## (2) 移動保健室事業

## ○ 巡回医療相談 (医療キャラバン隊)

県内で極端に少ない眼科医と耳鼻科医を、希望する市町村に派遣している。

## (3) 講習会研修会開催事業

## ○ 全国規模の研究大会や養護教員研究会、保健主事部会、小・中学校長会、その他学校保健関係者が行う研修会などを助成

各団体の育成や学校保健思想の一層の理解・促進を図っている。

## 2. 各地区(12地区)学校保健会事業

## (1) 地区健康推進事業

## ○ 12地区全部で行っている各地区の課題に応じた講習会、研修会、保健大会、発表大会などで、それぞれ特色ある内容となっている。

## (2) 夏期保健施設設置事業

## ○ 夏期休暇を利用しての肥満児・小児喘息対策事業

少年自然の家などを利用して、1泊2日から3泊5日程度の期間で体験活動を行うもので、現在5地区で行っている。

なお、本年度から小児成人病対策の一環とし

て、栄養士等との連携を図った調査研究を県内3地区の学校保健会主導で行うことにした。

以上概略を述べてきたが、来年度4月からの学校週5日制の月2回実施にともない、本部主導の事業から各地区学校保健会や研究団体主導への転換やその課題解決につながる内容の精選など、事業全体の見直しを図ることにしている。

## 熊本県学校保健会の活動

～未来をたくましく生きぬく熊本の子どもを育てよう～

(助)熊本県学校保健会

事務局長 坂本昭之助

本会は、13郡市学校保健会と高等学校保健会及び学校医、学校歯科医、学校薬剤師、学校長(会長会)、保健主事、養護教諭の6部会で組織されています。

それぞれの関係者が、互いの専門知識を生かし、協力しあって、児童生徒の健康に関するさまざまな課題に取り組んでいます。

## 1. 児童生徒の健康に関する調査・研究及び健康増進事業

## ○ 大会・研修会の開催

## ○ 健康教育・保健管理に関する手引書や各種指導資料の作成と配布

## 2. 本会の活動を円滑に行うため、理事会を中心に以下のような各種委員会を設置して事業の運営にあたっています。

## ○ 総務委員会 (表彰審査会、財源委員会、事業検討委員会)

## ○ 専門委員会 (子どもの疾病対策委員会、健康手帳委員会、性教育委員会、学校環境衛生委員会)

## ○ 事業推進委員会 (健康推進学校表彰審査会、児童生徒等歯・口の健康づくり事業推進委員会、児童生徒の心と体の健康づくり事業推進委員会)

## 3. 本会の財源は、次のものから成り立っています。

## ○ 児童生徒1人当たり15円の負担金

## ○ 熊本県医師会、熊本県歯科医師会、熊本県薬剤師会からの助成金

## ○ 熊本県教育委員会からの補助金

## ○ 事業所、会社、個人からの寄付 (援助金等)

## 日本学校保健会だより

## 平成6年度学校保健センター的事業報告会

標記の報告会が平成7年3月15日(水)午前10時から東京代々木の国立オリンピック記念青少年総合センターで開催された。出席者は各都道府県・指定都市学校保健会から推薦された方がた300名余であった。

冒頭、村瀬会長は、さきの阪神・淡路大震災には多くの犠牲者をだし、本会関係者のなかにも被害を受けられた方がたがおられ、心からお見舞いを申し上げる、と述べたあと、本日ご報告することは国のお金で行っている大きな事業である。この事業を行っている日本学校保健会自体が組織的にも、経済的にも確立していることが必要である。そのためにも現在行っている募金活動にご協力をお願いする、とあいさつをした。

つづいて文部省体育局長の銭谷学校健康教育課長が、阪神・淡路大震災で被災した児童・生徒の心の健康については、とくに指導講習会を開催したり、専門医を派遣してその対応に当たった。昨今の児童・生徒の健康問題では肥満、アレルギー、不登校、いじめなど多くの問題を抱えている。エイズ問題は若い世代への拡がりを見せ、教育の必要性が求められている。そのための教材、指導資料も配布している。また、時代の推移に対応して健康診断の見直しをし、この4月から改正し実施することとなっている、と養護教諭の役割りの重要性を強調されたあいさつがあった。

このあと矢野副会長が座長となり、会が進められ最初に企画運営委員長の青木専務理事からつぎのように事業の概況が説明された。

学校保健センター的事業の企画運営は、専務理事を委員長に、会長委嘱の15名の委員で構成する企画運営委員会が当り、平成6年度は、普及指導、調査研究、健康増進の三部門に分れ、18の委員会に256名の委員が参加して実施された。

事業は学校保健に関わる重要課題に対して調査・研究・指導の最も適した手法を選んで行い、本年度

から新たに「児童・生徒の眼の健康に関する調査研究委員会」「児童・生徒の骨の健康を守るための調査研究委員会」「児童・生徒の保健管理に関する調査研究委員会」「保健主事資質向上委員会」「水泳プール調査研究委員会」の5委員会が設置され、調査研究が進められている、と概況を報告したあと、普及指導事業についての概要も説明した。

つづいてつぎの各委員会報告と分科会発表の概要が各委員長から説明された。

## 委員会報告

- ①保健学習調査研究委員会－国崎弘委員長
- ②養護教諭研修研究委員会－江口篤寿委員長
- ③口腔機能発達研究委員会－森本基委員長
- ④喫煙・飲酒・薬物乱用防止指導研究委員会－高石昌弘委員長
- ⑤音声言語障害に関する調査研究委員会  
－新美成二委員長

## 分科会発表の概要

- ①健康診断調査研究委員会 －船川幡夫委員長
- ②歯・口の健康づくり推進委員会－中尾俊一委員長
- ③児童生徒の健康状態サーベイランス委員会  
－平山宗宏委員長

最後に「学校保健募金」への協力依頼と、2月2日現在の募金状況について青木専務理事から説明があった。この会計報告は会報第206号に掲載されているので参照されたい。

午後からは上記の3分科会が各会場に分れて報告と質疑が行われた。

午前中、センター的事業の概要説明のあと、会場からセンター的という「的」の意味について質問があった。これについて矢野副会長は、この事業が日本学校保健会へ文部省から委託された経緯を説明し「的」という字がとれるような名実ともに備わった学校保健センターにすべきであると考えている、と展望を述べた。



### 文部省体育局学校健康教育課人事異動

<p><b>転 出</b></p> <p>入江課長補佐→大臣官房会計課経理班専門員へ</p> <p>栗山課長補佐→文化庁長官官房総務課補佐へ</p> <p>出井教科調査官→杏林大学へ</p> <p><b>転 入</b></p> <p>河野課長補佐←東京水産大学から</p> <p>舟橋課長補佐←石川県企画開発部から</p>	<p>三木教科調査官←江東区第二亀戸小学校から</p> <p><b>併 任</b></p> <p>布村大臣官房企画官→大臣官房企画官 併 学校健康 教育企画官</p> <p>石川教科調査官→体育官 併 教科調査官</p> <p>今村専門員→専門員 併 エイズ教育専門官</p>
---	--

## 平成7年度「学校保健用品」推薦一覧表

平成7年4月1日～8年3月31日

別	No.	品 目	摘 要	会 社 名
図 書	1	“さあ、しゅっぱつだ！からだ 心のたんけんに” 低・中学年	小学校 低・中学年用図書	第一法規出版(株)
	2	“さあ、出発だ！体と心の探検に(高)	小学校 高学年用図書	第一法規出版(株)
	3	養護教諭 毎日の執務とその工夫	養護教諭の執務図書	第一法規出版(株)
薬 品	1	カワイ肝油ドロップ	保健栄養剤	河合製薬(株)
	2	プール用殺菌消毒剤 ハイライト®	プール水、食品等殺菌、消毒	日産化学工業(株)
	3	日曹ハイクロン	プール水の殺菌、消毒	日本曹達(株)
	4	医薬品「プール用バイゲンラックス」	プール用水殺菌剤	(株)カズサ
	5	アルボース石鹼液	手・指の殺菌、消毒、清浄	(株)アルボース
	6	シャボネット石鹼液	手・指の殺菌消毒、洗浄	サラヤ(株)
	7	こどもサンテ	目の疲れ、眼病予防、結膜充血予防目薬	参天製薬(株)
	8	ネフロスティックスL	尿検査の試票	三共(株)
	9	トヨクロン-GIII	学校プール水の消毒殺菌	東ソー(株)
	10	トヨクロン-H	学校プール水の消毒殺菌	東ソー(株)
	11	ネオクロール・ニュー-S	プール用殺菌消毒剤	四国化成工業(株)
	12	イソジンうがい薬	口臭の除去及び、のどの殺菌等	明治製薬(株)
	13	速乾性手指消毒剤ヒビスコールS	手指の殺菌消毒	サラヤ(株)
器 具	1	コロロ自動うがい器	自動うがい器	サラヤ(株)
	2	ライオンこどもハブラシ	ハブラシ (低・高学年)	ライオン(株)
	3	携帯用酸素吸入器O <sub>2</sub> バックA型	呼吸器困難時の応急用	ミドリ安全(株)
	4	みんなの健康	プール水質維持管理に関する教育用映画	日産化学工業(株)
	5	サラヤ自動手指消毒器	自動手指消毒器	サラヤ(株)
	6	JES (呼吸、吸圧) シューズ	シューズ (上げき)	日本教育シューズ協議会
	7	蘇生法教育人体モデル JAMY II	心肺蘇生法実習・訓練	(株)ヤガミ
器 材	8	370 視力検査器 YST-2	視力検査器具	(株)ヤガミ
	9	デジタル粉塵計 P-5型	空気環境における浮遊粉塵の測定	柴田科学器械工業(株)
	10	残留塩素測定器 OT法	遊離残留塩素の測定	柴田科学器械工業(株)
	11	アスマン通風乾湿計	空気環境の温度湿度測定	柴田科学器械工業(株)
	12	自動塩素注入装置 CLAR	プール濾過装置 (塩素等)	(株)テラルキョクトウ
	13	風速・温湿度計	気流、湿度、相対湿度の検査	日本カノマックス(株)
	14	積分形普通騒音計	教室の騒音の検査	日本カノマックス(株)
	15	高感度デジタル粉じん計	空気清浄度の検査	日本カノマックス(株)
新 規	1	PCクリニカライオンハブラシ	ハブラシ	ライオン(株)
	2	微風速計ウィンドボーイ ISA-65型	気流の測定	柴田科学器械工業(株)
	3	微風速計ウィンドボーイ ISA-67型	気流の測定	柴田科学器械工業(株)
	4	ABCD視力検査器 YST-7	視力検査器	(株)ヤガミ
	5	温湿度データロガー;TL-2	温湿度測定記録器	(株)ジェイエムエス
	6	BLDG DOCTOR	ビル室内管理環境測定器 (ロガーシステム)	(株)ジェイエムエス
	7	空気環境測定器 YEDP	空気環境測定器	(株)ヤギエス・アール・エム
	8	積分型普通騒音計	環境騒音測定器	(株)長野計器製作所

《備 考》平成7年度学校保健用品推薦 22社 39品目





次哉郎則子夫克昭彰子稔博平仁子弘夫彦康輔卓雄シ子郎介也一男男夫二子甫一靖樹彦キ郎一子也惠三代吾子彦子助一子樹郎堯太孝夫子路弘雄弘男夫治彊苗三子夫  
 謙 三 金英京久定 堪 晶 和隆和清真英 守卜羊參洋靜光一幸敬浩紀 美 英佐春正ア昭笑和久慎香賢成康史主秀尚敏俊 洪邦辰尚汀喜道茂昌暢光 早雄晃剛  
 後須木徳形澤原田野 浦中田尻井野司村田尾内坂岸川銅銅沢山谷会藤出木島岩岩本村代口瀬田永部藤原 山竹中石脇 井中塚内戸岡本村橋島野 上田田辺頭島村浦  
 矢黒柏行平深小奥増林杉野島谷高井正梅成松河有峯西真村森長渡伊小鈴田平山岩多谷永野柗阿伊小寛小佐田立西林藤山稲岩岡片川木棚中中林樋藤宮渡鬼中三  
 子二子実道薰代一助雄一三介雄忠慕郎雄進明昇美晃文二一正信子純章昭子代忠郎夫博郎郎弘昭宏遠郎明男宏三司一朗明順郎仁昇一幸雄郎郎男明生聡子郎正薰平峻  
 清利律 博 寿泰松勝參脩大芳弘友健保 春 一篤弘 敦 裕慶玲絹久雅稔忠林順泰太栄 光 鉄英一了弥哲賢朝勝 雄真利邦源義政純 寸宗英 浩美  
 山形崎井宮山井田上井田名藤田礼野藤口口木井村井堀水元尾上野藤嶋村村木西沢 田原村村喜原濱澤辺沢岡戸部 本平木井沢山辺中田田橋羽木添田澤崎下林  
 元尾山藤西小深勝島村池蛇伊町久磯佐滝滝鈴生田直長清中中村増佐菊谷中青大戸西黒笠曾富常崎長大渡戸立関服椿塚善青桜古秋渡田池小鑄大赤佐岡高梅山宮小  
 勝次男永光雄憲博明夫允郎藏隆彰雄正夫子渙基子正巳繁夫行利生実院次子徹克雄生眞男久一作弍彦一男学次一子治正孝道康郎子彦子裕雄亨郎一男登テ一介吉郎人仁  
 義勝博 昭親昭卓一博喜亮治 善 光式 公カ栄正 郁伸勝度 科昭直 吉重英 幸則卯幸欽達勝輝 国 幸由 忠家裕健禮和静 千 一脩茂 七雄良将正直  
 藤川沢川高藤松田塚野田宮根政原田上田木田沢原追賀村 沢本 本 齒田田原田 村西田拊木田中藤保賀木倉藤田野部倉野藤崎上田倉川野島村條 田辺田川塚山治田  
 佐浅金布小伊若本鬼飯岡小関武野持井黄鈴高田野矢大木角滝中林山竹鎌鎌藤窪林河小塩山高浅田安神蜂佐鬼後増黒矢朝大加田井島小外腰飯植北森豊渡池塩毛村判飯  
 雄洋宏子子彰行毅次一実章之生治助弘仁典健伸彌登枝功勳郎夫功裕之悟磨之惠惠夫則弘啓島康助雄郎潔郎男幸秋子一文雄京夫之男誼東郎通雄子郎之彦也隆相郎之郎  
 生幸延裕み 信英郷忠清 隆隆豊泰吉 尚 志重 正 英和 敏章秋保 繁宗忠 正寅勝 哲頼政和洋慎宏隆順健由延 八立浩泰節芳紀文達喜漢庄弘栄  
 木田野 原井田行中田川川曳野田越原山下山辺上田村村石川池谷井石 本井村田淵 塚原原井泉本邊木田沢部橋本友木藤 山塚幡内田沢作川山木田川木原 藤尻井  
 藤堅小柴小土沼執山前古中船片古浅河前陰宇渡井石田田白小小大增白東岡桜中会西東大河相石飯福渡青山柳渡高橋住鈴近朴高飯田竹串重矢北小青和徳内三金齊池細  
 宏美浩亘夏金修治陽夫子子一也准夫一人科世府吉郎科子稔郎誠博次男彦夫隆子平登雄臣章白隆雄哉郎雄実三之生道夫院惠忠之史修肇江典潔英子自一直子夫雄子  
 元正捷 寿吉 孝 達美裕綾制哲可寿洋吉眼文大藤三 五 慶 盛一 修滋俊康 眞新 秀正雅子森弘一征善 卓浩厚智博科和 正正 榮三 博武寛正秀禹瑞伸博  
 野家賀田藤田川谷野井藤田西藤部浦尾藤藤木方川出木 中央 地作間崎野野 川倉山本 木崎野本池村田井山田田立田花家 上 眼中部畑塚川溪宮端井迫川石 地井山家矢  
 星新志黒伊島前神中細伊鍋中佐川杉中齊齊三櫛早小三 赤 宮矢本見平松椿長板袖坂林鈴山飯宮小中牧金小山小足前木郷島井田服高飯長羽四北中中柄立巽下高梶尾神  
 一夫男也浄郎雄夫敦二彦博博玄樹行子樹男興亨朗信昭樹浩雄子一雄一枝郎至里彰吉子定郎徹直子子彦昭孝恒矩朗治郎夫一元夫季雄也勝夫均佳子義明博久朗秋康紀彦  
 昭和市仁 嘉信和 修正国康 茂重素良忠周 郁 良 一哲豊喜恒久三隆千 俊啓義徹 文映貴恒益 正英富良和賢弘忠芳信健 逸 正実惟 富治和壽敬博  
 野馬東迫迫野内川寺田方倉倉地谷藤藤藤木木原橋橋葉浦本浦和林竹野中沢本藤田田定松藤山山田野藤島尾村田川村 子田川崎木沼山藤本井本浦屋湖川浜川山田浦瀨坂  
 浅有伊一一字大小小鎌片片片菊熊佐佐佐佐菅高高千松松三三小佐山胡金宮近坂兼村内高吉高伊中宮田曾五北関金池大中青長杉加橋洒山杉栗桐船大石若矢杉岩永  
 央伸道明三彦郎己彦郎昭久吉視方行乃信功繁隆子一尚雄則幸夫義子明彦機子豊道威郎代一二勇勇子子之行子一夫泰洋也稔紅司弘稔正三子照子登毅己作満功人巖子巖  
 博正浄洋廣春克和琢 淳林清伸輝伊楢 容 登祐輝惠雅幸浩武英信 正 悦尚信莊 惠厚種正敏健哲啓芳卓 東侃光 浩勝英 麻 利 正直勇 彪正 満  
 田田木木津村川多多下木田西岡家岸根崎部藤山田 津田津井山川田池田房山鼻本本江田谷島下村田木尾木原野原岡橋野村原 佐野里 村崎石沢田内上野田山沼妻山  
 稲上薄薄島竹中藤藤森植太太西八山山櫓服佐横芦林字米河有西山伊蓮細花先森松森入長酒高竹中増三森青稻扇高松高岡木蓼芝土中中西本吉大相芦東田矢松小青我秋



忍院子久稔彦丈雄則郎洙夫明迪史己輝雄功子院夫郎吾院一史玄治広博生晃潮男意熙院藏子隆孝院浩郎子之裕子規機和一英尚信隆満也院憲元光弘雄忠隆亨人科丸雄  
 病泰武 伸義哲春欣敬正 健克美忠 優病俊健晋 病俊正 友一陸節正 増鐵紀英 貞 則病一絃真皓忠未泰英公晃邦 一 忠成病 祐公利康輝秀 和 婦 広光  
 藤原重田岡本中山本田 波辺部米岡 元井川水村 田院村田口釜口嶋島下崎川田山下山上仙田井内侯岡田下田谷畑志原崎崎原府原木高寺東田夏倉満岡根上産倉代  
 齊高岩窪丸杉田奥藤窪金那波磯市松牧楠吉下玉上西藤伊集江今原貴平岩長石原松岩吉大田来新大竹猪馬春山浜浅川立木津岡杉春久柿日最伊曲江米吉松阿井河小田  
 生子郎一子雄夫豊雄也隆宗裕雄雄夫子郎寛科彦子介晴根彦俊郎助道郎裕一雄江功樹俊英雄夫二子明則博一美泰悦志雄子信忍郎治愛子院磨幸海雄昭城力廣一和曉丸行  
 敏み俊貞淑一敏 文哲 保育一千一光咽嘉道純重孝玄谷慶政弘紀 栄敏賀 正正 孝陌修幸矩義正剛治 誠古一瑛幸 哲憲正玲病琢一朝虎隆干 該正克一義  
 場田川口 倉藤崎 水田木田根谷筋地倉村耳野田 田部村立賀尾山川田田上 澤部方川間地川口林崎原橋原森屋藤辺本田島口嶋森下村前玉浜上多 田山原山上木島  
 馬大深堀曲那後松南清角鈴熱仲神仲下小柳白川太瀧家服種小古長杉石太山村関黒阿味荒三菊荒田小田吉高安小脇斎田峠豊豊山蛟稲森植上児白田喜林和福小丸井黒中  
 哉一人夫義義夫雄郎男寛史四夫孝実英男司雄章寛樹生子郎生朗惠博平生雄一治雄通良明一美夫男清而雄一久臣臣利夫昭淳實子介郎数郎樹郎茂彦柳夫見久男夫暢子孝  
 一眞壽和信博岩秀彌久 雅和幹尚博利徳昭市 直道満寛道裕 良安茂惠勝節正尚昌慶正紀三 見忠幸幸勇敏映嘉 淑敬林慶健珠雄 秀自通定進元博 けい俊  
 藤藤塚川川瀬泉崎澤原川澤富湖原間山 藤島林林林幕藤村名澤藤岡田立木木澤野田丸原野澤島田木田本口場場 谷原川島島生野口越越村本吉島島口口室江原林木  
 伊伊飯石石石一今岩梅額大大大大大獲織鹿岸工小小小小木佐清惟波周杉杉杉杉高月登都柄中長長永並成根野馬馬林針平深福福藤星堀堀堀堀増松三本矢山山横堀檀小高  
 明志誠司博正司ヤ朗子史子邦元昌朗子二覚徳三亨裕郎司介修一廣樹豊勤亨雄昭江恒亨信志り二明也郎雄和志朗三裕平智恰彦造正啓子子衛子明吉夫仁美平博光之實健  
 克武 清義 裕ッ秀仁州寿正 永一朝建 義幸 康俊一 孝一秀 三遊 篤み栄 星幸武大徹 元康耕昭 邦賢一功和玲 八尉英英英 博良正弘孝  
 田川田月野林松藤井本本本本本尾水橋上田中村畑 谷田山村村田本田 岡井末田西瀬尾浦木木崎田本 本井上本岡田部元田曾駒尾中垣田川沢島上村本口居松木坂風  
 神北貴上河小小後酒阪阪坂坂六島清高田武田谷田辻樋戸富中橋橋濱林広福福船前間丸三三三三宮宮宮森森森安山山山吉吉渡岩上木生松橋稲木石長千三田山川藤赤荒有五  
 く邦子範宏夫枚彦子司教治一二潔宏智男繁惠人子文司二八平夫二三一志男子剛三清生彦豊子博郎勇ヨ春逸理護朗肇治哉治郎子子衛清義雄子郎嗣枝弘子子浩一正哉清  
 い正と公 幸 光勢泰和良浩知 陽信 昭部清卓英権好徹祐定良忠久和 勇 順通 久嘉神 七武佳眞堅一 昌直利広理玲 朝長守浜健正和正栄恵正準行和  
 野瀬田村野中 立田山藤田野木村武本野藤島池武賀見田川崎川府貴藤田上村熊葉島田 田畑中田内村川瀬田田田村藤見崎川部木橋塚田田崎田島豆崎橋上江道田藤口  
 佐築岡高宇田黒松外佐沼牧鈴高国坂日伊牛菊国古西藤皆宮小別志齋吉川中玉千飯窪塙飯高田千竹吉小一広太高青木青伏宮樞磯仁高飯熱国府浜芦石伊磯市井大大織加川  
 紀一江木夫一子平毅夫雄浩雄忍治司郎科朗男子次司陽晴幸人孝代嗣夫一勤旦治夫三郎男庄朗科哉吉子定郎徹直子子彦昭孝恒矩朗治郎夫一元夫季雄也勝夫均佳子義明  
 光定瑞太伊梅純泰政滋孝 光 啓 俊眼博照茂準淳元元武武芳文忠敏榮 伸一博四英政隆咽和俊啓義徹 文映貴恒益 正英富良和賢弘忠芳信健 逸 正実惟  
 田上中塚井な井藤木部田枝野関田林塚井山中中部成西家家本屋 木田辺崎田崎藤藤木中見 本耳沢田定松藤山田野藤島尾村田川村 子田川崎木沼山藤本井本浦屋湖川  
 下井田戸永は今佐茨阿笛八榎大武小稲坂横田井今山丹丹秋賀林白飯渡宮澤山伊大佐田細翁山深澤鼻鼻喉喉 小安兼村内高吉高伊中宮田曾五北関金池大中青長杉加橋洒山杉栗桐船  
 博久朗秋康紀彦宏美浩亘夏金修治陽夫子司一也准夫一人科世府吉徳清隆き之之功郎夫毅郎宏淳光恂一允悟雄明勉三一衛信正英晋睦人昇夫郎夫美昭志晃次子郎雄  
 富治和壽敬博元正捷 寿吉 孝 達美裕綾制哲可寿洋吉眼文大藤武 ゆ和秀昌健正 健全 信富 富 光洋 文 広 道太和勝仁武秀義和彰成秋  
 浜川山田浦瀬坂野家賀田藤田川谷野井藤田西藤部浦尾藤藤木方川出木谷木崎岡嵐田上野場野里木本村野野香木高林藤井藤 橋岐岐谷松田越邑嶋野中藤長賀 川 田  
 大石若矢杉岩永星新志黒伊島前神中細伊鍋中佐川杉中齊齊三櫛早小鈴宿二田吉五寺山浅馬小中青橋田高浅鈴大平近新佐原高上土細村森塚野淡狩田齋砂須林岸北岸片







**学童の集団検尿に、  
エームス尿検査試験紙。**

エームス尿検査試験紙

**ネフロスティックズ®-L**

体外診断用医薬品

バイエル・三共株式会社  
東京都中央区築地6丁目19番20号  
販売元：  
**三共株式会社**  
東京都中央区日本橋本町3丁目5番1号 〒103 ☎(03)525-7111  
JU1694-S

**養護教諭**  
— 毎日の執務とその工夫 —

第一法規  
〒107 東京都港区南青山2-11-17  
Tel.(03)3404-2251/Fax.(03)3404-2269

編集 ● 養護教諭実務研究会 / 編集代表 ● 吉田瑩一郎 (日本体育大学教授)  
★B5判・冊子加入式・全2巻・定価10,000円(税込)〈干実費〉

これからの学校教育の中における、学校全体の中での養護教諭の役割や責任に注目し、日常の執務に密着した内容を多く取り上げ、基礎的で大切な問題と言われながら、なかなか実行に移しにくい事柄や、具体的な取り組み方が今一つ見えにくいテーマなどに実践的指針を示した解説書です。

健康へのひと粒 服用しやすい ゼリー状ドロップ剤



**カワイ肝油ドロップ**

河合製薬株式会社 東京都中野区中野6-3-5

**シャボネット® 石鹸液 ユ・ム**

ご連絡は… サラヤ株式会社 ☎(06)797-2525 東京サラヤ株式会社 ☎(03)3472-1521

プール用殺菌・消毒剤

**ネオクロール**

四国化成工業株式会社

東京本社 大阪支社 福岡営業所 名古屋営業所 徳島第2工場  
043(296)4111 06(251)4111 092(431)4111 052(211)4111 0886(98)4111

